

第 2 次

砥 部 町

総合計画

—実施計画—

令和 9 年度



四 国
えひめ

砥 部
TOBE

愛媛県砥部町

I 総合計画実施計画の策定方針	1
II 総合計画実施計画目標別事業費総括表	2
III 事業の概要	3



やすらぎ

目標 1 だれもが地域で幸せに暮らすことができるまちを実現します	3
政策 1 地域共生社会の実現	3
◆ 福祉ボランティア育成事業	
政策 2 高齢者福祉の充実	4
◆ 一般介護予防事業・生活支援体制整備事業	
政策 3 障がい者福祉の充実	5
◆ 障がい福祉サービス事業	
◆ 地域活動支援センター支援事業	
政策 4 健康づくりの推進	6
◆ 地区巡回健康教室等の健康教育事業	
政策 5 地域医療の充実	7
◆ 夜間・休日の救急医療体制の確保	
◆ 国保診療所施設管理事業	
政策 6 社会保障の充実	8
◆ 疾病予防事業	
◆ 特定健康診査・保健指導事業	
目標 2 防災・防犯に取り組み、安全で安心して暮らすことができるまちを実現します	10
政策 1 防災・減災の推進	10
◆ 自主防災組織推進事業	
政策 2 交通安全・防犯対策の充実	11
◆ 交通安全啓発事業	
◆ 地域防犯活動推進事業	



はぐくみ

目標 3 未来を担う子どもたちが、たくましく健やかに育まれるまちを実現します	12
政策 1 子育て支援の充実	12
◆ とべファミリー・サポート・センター事業	
◆ 子どもインフルエンザ予防接種費用助成	
政策 2 学校教育の充実	14
◆ 町内産食材の活用促進事業	
◆ 学校施設維持管理事業	
◆ 町内小・中学校屋内運動場等空調設備事業	
◆ 新聞を取り入れた学習活動推進事業	
◆ I C T 支援員の配置	
◆ 教育におけるICT環境整備授業	
目標 4 身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します	17
政策 1 青少年の健全育成	17
◆ 青少年健全育成事業	
政策 2 生涯学習環境の整備	18
◆ 教育委員会(公民館)が主催する教室及び生涯学習事業	
◆ 教育委員会(公民館)が実施する事業のホームページ及び広報紙等での情報発信事業	
◆ 地域学校協働活動推進事業	
政策 3 人権尊重・男女共同参画の推進	20
◆ 男女共同参画推進事業	
◆ 人権教育推進事業	
◆ 砥部町特定事業主行動計画策定	
目標 5 文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します	22
政策 1 文化活動の推進	22
◆ 文化施設等維持・管理事業	
◆ 発表会・展示会等の開催事業	
政策 2 文化財の保護と活用	24
◆ 文化財等活用事業	
◆ 文化財等保護事業	
政策 3 スポーツ活動の推進	25
◆ スポーツ・レクリエーション大会開催	
◆ 社会体育施設等維持・管理事業	
◆ ニュースポーツ推進事業	

目標 6 多彩な地域資源を活かし、人や地域が潤うまちを実現します 27

政策 1 商工業の振興 27

- ◆ 商工業振興事業
- ◆ サテライトオフィス開設支援補助金事業

政策 2 農林水産業の振興 29

- ◆ 農地中間管理事業
- ◆ 奨励果樹等育成対策事業
- ◆ 果樹産地強化支援事業
- ◆ ひろた地域づくり協議会活動事業（旧 6 次産業化支援事業）
- ◆ 新規就農者育成総合対策事業
- ◆ 森林整備事業

目標 7 多くの人々が訪れる交流の活発なまちを実現します 33

政策 1 観光の振興 33

- ◆ 砥部焼振興事業
- ◆ 砥部焼伝統産業会館施設管理事業
- ◆ 峡の館施設管理事業
- ◆ 陶芸創作館施設管理事業
- ◆ 農村工芸体験館施設管理事業
- ◆ 県施設との連携イベント事業
- ◆ 農村工芸体験館施設管理事業
- ◆ ブランド化の中核を担う体制の整備事業
- ◆ 観光コンテンツ充実事業

政策 2 移住・定住推進と空き家の利活用 38

- ◆ 空き家バンク
- ◆ 移住定住促進事業

目標 8 快適な住民生活を支える社会基盤を実現します	39
政策 1 計画的な土地利用	39
◆ 都市計画事業	
政策 2 住環境の整備	40
◆ 空き家対策事業	
政策 3 交通環境の整備	41
◆ 通学路安全対策事業	
◆ 道路ボランティア事業	
◆ のりあいタクシー運行事業	
政策 4 上下水道の整備	43
◆ 水道管布設替事業（老朽管）	
◆ 公共下水道整備事業	
目標 9 豊かな自然と共に生きる環境整備を実現します	44
政策 1 自然環境の保全	44
◆ 自然環境保全活動	
◆ 浄化槽設置整備事業	
政策 2 循環型社会の推進	46
◆ ごみ減量化資源化促進事業	
目標 10 人々の生活を支えるため、持続可能な行財政運営を実現します	47
政策 1 健全な自治体経営の推進	47
◆ 中長期財政計画の見直し	
◆ 職員研修	
◆ 町税の収納対策	
◆ マイナンバーカード交付事業	
◆ 行政システムオンライン化事業	
政策 2 住民との協働の推進	50
◆ 多様な主体との連携事業	
◆ 各種団体等との連携事業	
◆ 自治活動支援事業	
政策 3 広報・広聴の充実	52
◆ 広聴機能の充実	
◆ ホームページ運用・保守業務	

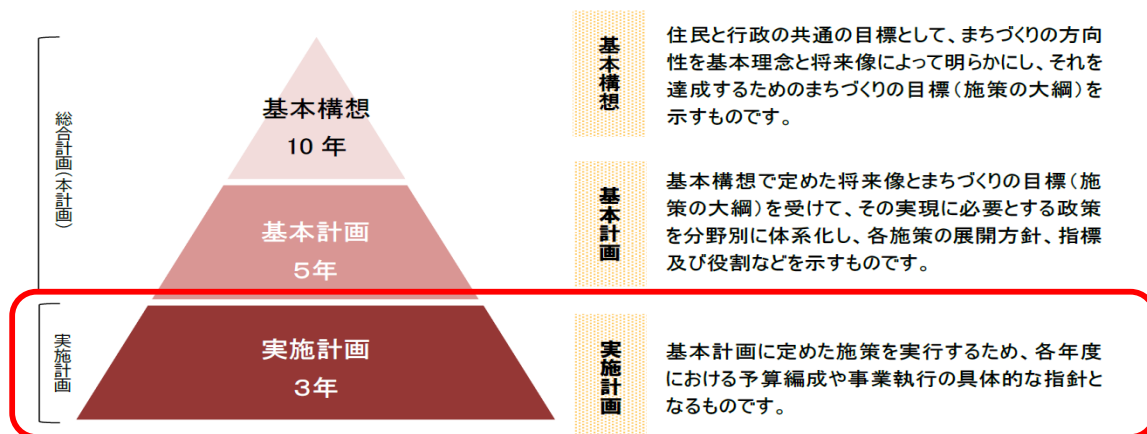
I 総合計画実施計画の策定方針

1 実施計画の目的

実施計画は、総合計画の基本構想に掲げられた町の将来像や、基本計画で示した主要施策を実現するために、向こう3年間の具体的に実施する事業等を定め、計画的かつ効率的に推進するため策定するものです。

2 総合計画の位置づけ

実施計画は、第2次砥部町総合計画において、次のとおり位置づけられています。



3 計画の期間

実施計画の期間は、基本計画ので最終年度である令和9年度のみとします。

4 対象事業（実施計画掲載事業）

実施計画に登載される事業は、総合計画を推進する上で必要と思われるハード事業（投資的事業）及びソフト事業で、概ね次のいずれかにあてはまる事業です。

（１） ハード事業（投資的事業）及びソフト事業については以下のとおりです。

事業項目	内 容		目 安
ソフト事業・ハード事業	第2次総合計画の各政策に関連する事業	総合計画に掲げる成果指標があるもの	全て

（２） 上記の金額にかかわらず、特色ある事業及び重点的に推進すべき事業で、「文化とこころがふれあうまち」の実現に向けて重要と認めるもの

Ⅱ 総合計画実施計画目標別事業費総括表

(単位：千円)

目 標	令和9年度	小計
目標1 だれもが地域で幸せに暮らすことができるまちを実現します	63,976	63,976
目標2 防災・防犯に取り組み、安全で安心して暮らすことができるまちを実現します	3,097	3,097
目標3 未来を担う子どもたちが、たくましく健やかに育まれるまちを実現します	222,992	222,992
目標4 身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します	13,497	13,497
目標5 文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します	223,097	223,097
目標6 多彩な地域資源を活かし、人や地域が潤うまちを実現します	55,783	55,783
目標7 多くの人々が訪れる交流の活発なまちを実現します	123,184	123,184
目標8 快適な住民生活を支える社会基盤を実現します	373,000	373,000
目標9 豊かな自然と共に生きる環境整備を実現します	6,512	6,512
目標10 人々の生活を支えるため、持続可能な行財政運営を実現します	41,568	41,568
総 合 計	1,126,706	1,126,706

Ⅲ 事業の概要（総合計画に掲げる成果指標があるもの）



やすらぎ

本町に住む全ての住民が感じる心と体の安らぎ

【健康・福祉分野】

目標 1 だれもが地域で幸せに暮らすことができるまちを実現します

政策 1	地域共生社会の実現
政策 2	高齢者福祉の充実
政策 3	障がい者福祉の充実
政策 4	健康づくりの推進
政策 5	地域医療の充実
政策 6	社会保障の充実

政策 1 地域共生社会の実現

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	介護保険特別会計	事業方針	現状維持
事業名	福祉ボランティア育成事業			担当部署	介護福祉課 地域包括支援センター係
目 標	目標 1 だれもが地域で幸せに暮らすことができるまちを実現します				
政 策	政策 1 地域共生社会の実現				
事業概要	様々な世代の住民等が気軽に交流することができ、高齢者を身近に考えることができる場づくりに務め、地域の認知症サポーター及び有償・無償ボランティアなどを育成する。 ①認知症の理解や認知症の人やその家族の支えることができる人材を育成するために認知症サポーター養成講座を開催する。 ②地域で認知症の人やその家族に対してボランティアとして実際に活躍できる人材を育成するために認知症サポーターステップアップ講座を開催する。 ③地域の人や認知症の人、その家族が自分らしく活動することができる認知症カフェを開催する。 ④認知症サポーターステップアップ講座を受講した人材を中心にチームオレンジを結成し、認知症の人の叶えたい想いを支援する活動を行う。 ⑤有償・無償ボランティア育成のためにアクティブシニアボランティア養成講座・フォローアップ講座を開催する。				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	高齢化の進展に伴い認知高齢者が増加するなか、講座を継続的に実施して町民の認知症への正しい理解を深めることは、地域社会における「見守りと早期気づきの基盤」を維持するために必須である。 受講者が認知症サポーターとして地域に存在し続けることで認知症の初期症状や孤立リスクを早期に察知し、専門窓口へつなぐことができる。この早期介入の仕組みが維持されることにより認知症の重度化予防や住み慣れた地域でのその人らしく在宅生活を継続することができる期間の延伸をもたらす、結果として中長期的な社会保障費の最適化にも間接的に寄与している。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	651千円				651千円
総合計画成果指標					
成果指標名	認知症サポーターの登録数			最終目標値(R9)	2,500人

政策 2 高齢者福祉の充実

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	介護保険特別会計	事業方針	現状維持
事業名	一般介護予防事業・生活支援体制整備事業			担当部署	介護福祉課 地域包括支援センター係
目 標	目標 1 だれもが地域で幸せに暮らすことができるまちを実現します				
政 策	政策 2 高齢者福祉の充実				
事業概要	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業により、基本チェックリスト調査を行い、フレイル予防などの早期支援を行う。サロンなどの通いの場の増加と継続を目指して、社会福祉協議会とともに、リーダー育成や運営支援を行う。 ①高齢者のフレイル・オーラルフレイル予防、認知症予防等の介護予防教室を開催する。 ②体力測定とタブレットを活用した脳の健康度チェック、百歳体操とスマホ等を活用した脳トレ教室を開催する。 ③集合型サロンや訪問や電話による見守り活動や少人数での集まりなどの新しい通いの場の形も取り入れながら、住民主体で行われる高齢者サロン活動を支援する。				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	フレイル該当者を早期発見し、介護予防教室につなげることで、健康意識の向上と自主的な予防行動を促し、「介護予防教室参加者数」の増加につながる。 地域におけるリーダー育成や運営支援を行うことで、住民が主体となって運営する高齢者サロン等の「通いの場」を質・量ともに充実させ、多様なニーズに応じた新しい通いの場の形を提示・支援することにより、孤立を防ぎ「サロン活動への参加者数」の増加につながる。 これら「早期のフレイル予防」と「継続的な社会参加・居場所づくり（サロン）」を両輪として一体的に推進することで、高齢者の身体機能・認知機能の低下を予防し、健康寿命の延伸を図る。この一連の因果関係を通じて、最終的な成果指標である「要介護等認定率」の上昇抑制へと結びつける。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	4,527千円				4,527千円
総合計画成果指標					
成果指標名	介護予防事業教室参加者数			最終目標値(R9)	1,015人
成果指標名	要介護等認定率			最終目標値(R9)	19.7%
成果指標名	サロン（高齢者の集い・通いの場）活動への参加者数			最終目標値(R9)	5,445人

政策3 障がい者福祉の充実

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	拡大して継続
事業名	障がい福祉サービス事業			担当部署	介護福祉課 障がい福祉係
目 標	目標 1 だれもが地域で幸せに暮らすことができるまちを実現します				
政 策	政策 3 障がい者福祉の充実				
事業概要	障がい福祉サービス等が必要な人に、障がい福祉サービス費、障がい児通所給付費、高額障がい福祉サービス費、高額障がい児通所給付費、補装具費の給付を行う。また、障がい児に対しては、生活能力の向上や集団生活への適応、社会との交流促進等の療育訓練を行う。				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	各種給付費の支給は、障害のある人やその家族が、経済的負担を軽減されながら必要な支援を適切に受けるための基盤となっており、障がい福祉サービス事業は単なる福祉コストの支出ではなく、個別の給付や支援が積み重なることで、町全体の福祉・安心度のKPIを確実に引き上げるという強固な因果関係が設計されている。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	772, 449千円				772, 449千円
総合計画成果指標					
成果指標名	在宅での障害福祉サービス利用者数			最終目標値(R9)	200人

【実施計画事業】

【実施計画事業】					
区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	地域活動支援センター支援事業			担当部署	介護福祉課 障がい福祉係
目 標	目標 1 だれもが地域で幸せに暮らすことができるまちを実現します				
政 策	政策 3 障がい者福祉の充実				
事業概要	南風会が運営する地域活動支援センター「ひとやすみ」に対し、運営事業費補助金を交付する。同施設は、自宅に引きこもりがちな障がい者等に対して外出や他者との交流の機会を提供し、ステップアップとなる次のサービスへの移行を促す重要な役割を果たしている。また、他サービスへの移行後も継続して休息や交流の場として利用されるなど、地域における貴重な居場所として機能している。				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	本事業への補助金交付は、単なる一時的な居場所の提供（点）にとどまらず、引きこもり状態からの『社会参加への誘引（線）』、そして移行後の『地域定着・孤立防止（面）』にまで繋がっており、総合計画が目指す【地域共生社会の実現】および【障害者福祉関連KPI】の達成に対して、直接的かつ不可欠な因果関係を持っている。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	8,280千円				8,280千円
総合計画成果指標					
成果指標名	地域活動支援センターの利用者数			最終目標値(R9)	10人／日

政策4 健康づくりの推進

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	地区巡回健康教室等の健康教育事业			担当部署	保険健康課 健康増進係 子育て支援課こども家庭センター係
目 標	目標 1 だれもが地域で幸せに暮らすことができるまちを実現します				
政 策	政策 4 健康づくりの推進				
事業概要	○成人・高齢者の健康教育事业 生活習慣病を予防するため、保健センターや地区集会所等において、栄養指導・運動指導を実施する。また、町内主要施設（中央公民館、老人福祉センター、総合福祉センターはらまち、県立医療技術大学）においても、運動指導を中心とした健康教育事业を実施する。 ○園芸を通じた健康づくり事業 園芸作業を通して参加者の健康増進と交流を図ることで生きがいをもつことを推奨する。 ○母子の健康教育（子育て支援課と協同） 妊娠・出産・育児にかかる知識や情報を子育て家庭に伝えるため、健康相談・保健指導・実技やグループワークを取り入れた教室などを展開する。 【事業費】 保険健康課 老成人教育及び園芸事業 190千円、母子教育 150千円 子育て支援課 母子教育 170千円				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	事業を通じ、住民が自らの意思で自宅から外に出て、保健センターや集会所・公民館等で健康教育に参加することこそが「心と身体 の健康づくりの第一歩」となる。また、事業を通じ、健康づくり及び妊娠期から子育て期に係る知識や技術を学ぶことにより、本人・家族の健康づくりにつながるといった因果関係がある。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	510千円				510千円
総合計画成果指標					
成果指標名	健康教室事業への参加者数			最終目標値(R9)	8,000人



政策 5 地域医療の充実

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	夜間・休日の救急医療体制の確保			担当部署	保険健康課 健康増進係
目 標	目標 1 だれもが地域で幸せに暮らすことができるまちを実現します				
政 策	政策 5 地域医療の充実				
事業概要	夜間や休日における応急処置や治療を行う初期救急医療体制の機能を維持・確保すること、及び松山医療圏域における二次救急医療体制の支援を行うことを目的に、圏域における砥部町の分担金を確保する。 ○伊予地区休日在宅当番医制運営費市町分担金 ○伊予地区救急医療対策協議会市町分担金 ○病院群輪番制市町負担金 輪番運営費負担金、輪番救急搬送負担金、松山市急患医療センター負担金、小児救急支援負担金				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	突発的な夜間・休日の急病や事故発症時における医療提供の「機能空白」という重大なリスクを未然に回避する。圏域内の輪番制および松山市急患医療センターの運営を継続支援することで、救急搬送の遅延や受入不能といった医療崩壊リスクを低減するとともに、急医療体制の確保及び維持することでKPIの達成に寄与する。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	13, 426千円				13, 426千円
総合計画成果指標					
成果指標名	夜間・休日の救急医療提供体制の確保			最終目標値(R9)	維持

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	国民健康保険特別会計（施設勘定）	事業方針	縮小して継続
事業名	国保診療所施設管理事業			担当部署	国保診療所
目 標	目標 1 だれもが地域で幸せに暮らすことができるまちを実現します				
政 策	政策 5 地域医療の充実				
事業概要	 広田地区唯一の医療機関として地域住民の健康保持を担うため、施設の老朽化に適宜対応しながら適正な維持管理に努める。 診療所外観				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	広田地区唯一の医療機関である国保診療所の老朽化対策及び適正な維持管理を実施することは、地域住民が安心して医療を受けられる環境の維持に直結する。これにより、過疎地域においても必要な医療サービスを安定的かつ継続的に提供することが可能となり、過疎地域における医療提供体制の確保に直接的に寄与する。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	11,433千円				11,433千円
総合計画成果指標					
成果指標名	過疎地域における医療提供体制の確保			最終目標値(R9)	維持

政策 6 社会保障の充実

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	国民健康保険事業特別会計	事業方針	現状維持
事業名	疾病予防事業			担当部署	保険健康課 医療保険係
目 標	目標 1 だれもが地域で幸せに暮らすことができるまちを実現します				
政 策	政策 6 社会保障の充実				
事業概要	 ジェネリック医薬品コールセンター ジェネリック医薬品について、お電話でお問い合わせください。 「ジェネリック医薬品」は、有効成分が同じで、効果・効能が同等の ジェネリック医薬品。おおよそ50%～90% の価格差があります。お電話でジェネリック医薬品に お切り替えいただくことで、お薬の費用が大幅に安くなります。 お電話でジェネリック医薬品に お切り替えください。 【切り方】 お薬の箱の裏面に記載されている「ジェネリック医薬品」の お薬の箱の裏面に記載されている「ジェネリック医薬品」の お薬の箱の裏面に記載されている「ジェネリック医薬品」の  「ジェネリック医薬品」を 活用しましょう！ Q1 ジェネリック医薬品ってどんな薬なの？ A 先発薬と主成分・働きが同じ薬です。 同じ成分・働きで、お薬の費用が安くなります。お薬の 費用が安くなることで、お薬の費用が安くなります。 お薬の費用が安くなることで、お薬の費用が安くなります。 Q2 どうして薬価を安くできるの？ A 特許期間が満了したお薬は、特許期間が満了したお薬は、 特許期間が満了したお薬は、				

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	国民健康保険事業特別会計	事業方針	現状維持
事業名	特定健康診査・保健指導事業			担当部署	保険健康課 健康増進係
目 標	目標 1 だれもが地域で幸せに暮らすことができるまちを実現します				
政 策	政策 6 社会保障の充実				
事業概要	○特定健康診査の推進 40歳から74歳の国民健康保険被保険者を対象とし、継続受診者や未受診者への受診を促す取組などを推進することで、受診率の向上を図る。 ・令和7年度から、心電図検査を受診者全員に実施し、高血圧、心不全対策を推進する。 ・未受診勧奨として、はがきや電話による勧奨、医療機関への協力依頼、がん検診無料クーポン事業を継続 ○特定保健指導の推進 特定健康診査により、メタボリックシンドロームの該当者、予備群とされた方に対し、特定保健指導を実施する。				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	特定健診について、スマートフォンやパソコンから24時間いつでも申し込み手続きができることで、住民の利便性の向上を図り、健診の受診率向上に寄与する。 特定保健指導についても、オンライン化を促進することで、移動時間や待ち時間の削減など住民の心理的ハードルを下げ、結果として特定保健指導の実施率向上に寄与する。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	24,662千円				24,662千円
総合計画成果指標					
成果指標名	特定健康診査受診率			最終目標値(R9)	60%
成果指標名	特定保健指導実施率			最終目標値(R9)	70%

【安全・安心分野】

目標 2 防災・防犯に取り組み、安全で安心して暮らすことができるまちを実現します

政策 1 防災・減災の推進

政策 2 交通安全・防犯対策の充実

政策 1 防災・減災の推進

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	拡大して継続
事業名	自主防災組織推進事業			担当部署	総務課 危機管理室 防災企画係
目 標	目標 2 防災・防犯に取り組み、安全で安心して暮らすことができるまちを実現します				
政 策	政策 1 防災・減災の推進				
事業概要	(1)防災士養成 地域からの推薦により、県主催の養成講座を受講し、各自主防災組織の地域防災力を強化する 【防災士養成者数予定】 令和 7 年度当初の防災士：219人 令和 8 年度から 9 年度までの養成者予定数：20名程度 (2)防災士のスキルアップ 地域の防災リーダーとしての資質向上を目的とし、防災訓練・研修会等を企画・実施する。 【おもな活動内容】 ・砥部町総合防災訓練への参加 ・松山市防災士フォローアッププログラムに参画 ・防災士のスキルアップ研修への参加促進				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	自主的な地域の防災力向上のため、地域防災の担い手となる防災士を養成するとともに、防災士養成後の活動をサポートし、地域防災力の底上げを図ることにより、防災・減災に強い地区防災組織の確立が見込めることから、KPIの達成に寄与すると考えられる。 また、女性防災士の養成を増やすことで、避難所運営や救助など女性の視点に立った災害支援活動ができるようになり、被災者の安心感につながるといった因果関係がある。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	203千円				203千円
総合計画成果指標					
成果指標名	防災士の養成数（累計）			最終目標値(R9)	250人
成果指標名	自主防災組織の自主訓練回数			最終目標値(R9)	15回
成果指標名	防災士の研修などへの参加者数			最終目標値(R9)	90人

政策 2 交通安全・防犯対策の充実

【実施計画事業】

【実施計画】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	交通安全啓発事業			担当部署	総務課 危機管理室 防災企画係
目 標	目標 2 防災・防犯に取り組み、安全で安心して暮らすことができるまちを実現します				
政 策	政策 2 交通安全・防犯対策の充実				
事業概要	関係機関と連携し、以下の事業に取り組み、交通安全の意識やマナー向上に努める。 ○交通安全教室の開催 ○学童等の登校時の街頭指導の実施 ○啓発に関する広報掲載やチラシの配布、ポスター掲示等 ○交通安全人の輪作戦の実施 ○高齢者対象の安全教室の実施				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	松山南交通安全協会や町交通指導員、その他関係機関等との協力・連携し、交通安全意識や交通モラル向上の取り組むことにより、死亡事故や負傷者を減らし、交通事故の起こりにくい地域社会づくりを確立できるといった因果関係がある。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	2, 451千円				2, 451千円
総合計画成果指標					
成果指標名	交通安全啓発回数			最終目標値(R9)	50回

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	地域防犯活動推進事業			担当部署	地域振興課 コミュニティ支援係
目 標	目標 2 防災・防犯に取り組み、安全で安心して暮らすことができるまちを実現します				
政 策	政策 2 交通安全・防犯対策の充実				
事業概要	地球環境へ負荷の少ない省エネルギーのLED防犯灯の設置を促進し、経費削減及び地球温暖化対策並びに犯罪の少ない安全・安心なまちづくりを推進するため、防犯灯の維持管理に支援を行う。 LED防犯灯設置事業費補助金 【令和9年度】 ・新設（専用柱含む）：対象経費1/2 上限50,000円 ・新設（防犯灯のみ）：対象経費1/2 上限25,000円 ・LED防犯灯が故障した場合の修理又は取替：対象経費1/2 上限15,000円				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	町内各区からの要望に応じてLED防犯灯の新設および既存LED防犯灯の修理・取替にかかる費用を補助する本事業の実施は、町内の防犯灯全体に占めるLEDの割合を直接的に引き上げるとともに、犯罪の少ない安全・安心なまちづくりに寄与する事業である。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	443千円				443千円
総合計画成果指標					
成果指標名	LED防犯灯の普及率			最終目標値(R9)	100.0%



はぐくみ

本町の未来を担う人が育ち、生涯にわたり学びがある育み

【子ども・教育分野】

目標 3 未来を担う子どもたちが、たくましく健やかに育まれるまちを実現します

政策 1 子育て支援の充実

政策 2 学校教育の充実

政策 1 子育て支援の充実

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	とべファミリー・サポート・センター事業			担当部署	子育て支援課　こども家庭センター係
目 標	目標3　未来を担う子どもたちが、たくましく健やかに育まれるまちを実現します				
政 策	政策1　子育て支援の充実				
事業概要	・乳幼児から小学生の児童を養育している者や地域住民が会員となり、児童の送迎や預かりの援助を受けたい者（利用会員）と、援助を行う者（サポート会員：有償ボランティア）との相互援助活動を行う。 ・援助活動の計画においては、子育て支援課が事務局となりサービスの利用調整を行う。 ・交流会・講習会への参加は、会員登録の有無は問わない。				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	ファミリー・サポート・センター事業を円滑い運用していくうえで、交流会の開催は事業基盤を強化するための重要な役割を果たす。 事業の制度設計に対する不安やハードルを下げることで会員登録・利用実績の増加が期待できるとともに、会員と事務局の交流という側面においても、援助の実態を把握することでトラブルの未然防止や今後の事業計画に対し会員の声を反映することが可能となる。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	1,104千円				1,104千円
総合計画成果指標					
成果指標名	ファミリー・サポート・センター交流実績			最終目標値(R9)	3回

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	子どもインフルエンザ予防接種費用助成事業			担当部署	保険健康課 保健予防係
目 標	目標3 未来を担う子どもたちが、たくましく健やかに育まれるまちを実現します				
政 策	政策1 子育て支援の充実				
事業概要	秋から冬のインフルエンザ流行期間における、季節性インフルエンザ予防接種費用を助成することで疾患の重症化予防やまん延防止につなげるとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。 対象は生後6か月から高校3年生相当年齢までで、指定医療機関で接種したインフルエンザ予防接種費用の一部(1回あたり1,000円)を医療機関の窓口で直接助成する。指定医療機関以外で接種した場合には、償還払いを実施する。				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	生後6か月から高校3年生相当年齢までの対象世帯に対し、インフルエンザ予防接種費用の一部を直接助成する。これにより接種への経済的ハードルを引き下げて実際の接種行動へ直結させるとともに、町の厚い支援に対する安心感から予防への意識向上と自発的な行動変容を誘発し、成果指標の向上に寄与する。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費(千円)	1,240千円				1,240千円
総合計画成果指標					
成果指標名	子どもインフルエンザ予防接種費用助成人数			最終目標値(R9)	1,300人

政策 2 学校教育の充実

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	町内産食材の活用促進事業			担当部署	学校教育課 学校給食係
目 標	目標 3 未来を担う子どもたちが、たくましく健やかに育まれるまちを実現します				
政 策	政策 2 学校教育の充実				
事業概要	地産地消率（町内産）  3年度 4年度 5年度 6年度 7年度 地場産物（町内産）／金額 学校給食における町内産食材の活用（地産地消率）を高めることにより、安全で安心な給食の提供を行うと共に、地元の農産物、伝統食文化の関心の高まりによる食育の推進に資する。 令和3年度から県給食会より納入される給食用米の一部を町内産米に切り替えており、可能な限り町内産米の確保に取り組む。				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	町内産食材を活用した給食の提供を通じて、児童生徒の地元農産物や伝統食文化への関心を高めることで、成果指標である「学校給食における地産地消率(町内産)」の向上に寄与する。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	0千円				0千円
総合計画成果指標					
成果指標名	学校給食における地産地消率（町内産）			最終目標値(R9)	4.5%

【実施計画事業】

【実施計画】	区分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
	事業名	学校施設維持管理事業			担当部署	学校教育課 総務係
	目標	目標 3 未来を担う子どもたちが、たくましく健やかに育まれるまちを実現します				
	政策	政策 2 学校教育の充実				
	事業概要	65年以上の施設使用を目指し、従来の対症療法的な修繕から、予防保全的な観点に立った改修工事を行うとともに、すべての児童・生徒が、安全で、安心して学校施設を利用できるように、学校の環境整備を行う。 【一般修繕・整備】 R9 砥部小学校校舎外壁劣化修繕工事 15,000千円（概算）				
	【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	学校施設の老朽箇所を早期に改修し、安全対策を徹底することにより、経年劣化に伴う施設の損壊や児童生徒の負傷といった将来的なリスクを未然に防止する。安全上の重大な脅威を排除し、現在の良好な学習環境の悪化を食い止めることで、成果指標の維持・向上に寄与する。				
		令和9年度				計画期間中の事業費計
	計画年度	●				
	事業費（千円）	15,000千円				15,000千円
	総合計画成果指標					
	成果指標名	児童生徒の学校生活満足度(学校評価)			最終目標値(R9)	90%

【実施計画事業】

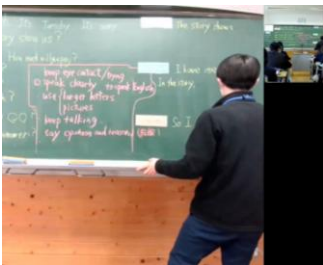
区 分	新規	会計区分	一般会計	事業方針	新規事業
事業名	町内小・中学校屋内運動場等空調設備事業			担当部署	学校教育課 総務係
目 標	目標3 未来を担う子どもたちが、たくましく健やかに育まれるまちを実現します				
政 策	政策2 学校教育の充実				
事業概要	近年の長期化する夏場の高温対策として、避難所指定されている学校の屋内運動場に空調設備を令和8年度に引き続き、宮内小・砥部小・砥部中武道場に導入する。 令和9年度 宮内小・砥部小・砥部中武道場設置工事 【工事等概要】 R9 宮内小・砥部小・砥部中武道場設置工事（監理含） 202,000千円				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	小中学校の屋内運動場へ空調設備を設置することにより、夏期等の酷暑期における運動場内の温度環境を直接的に改善する。快適で安全な学習・運動環境が速やかに確保されることで、児童生徒の日々の学校生活における快適性と利便性が向上し、成果指標である学校生活満足度の向上に直接寄与する。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	202,000千円				202,000千円
総合計画成果指標					
成果指標名	児童生徒の学校生活満足度(学校評価)			最終目標値(R9)	90%

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	新聞を取り入れた学習活動推進事業			担当部署	学校教育課 学校教育係
目 標	目標3 未来を担う子どもたちが、たくましく健やかに育まれるまちを実現します				
政 策	政策2 学校教育の充実				
事業概要	学習用タブレットを活用し、新聞を取り入れた学習活動を推進することで、児童・生徒の情報活用能力の育成を図る。 愛媛新聞forスタディを利用することで情報収集・活用能力の向上を図る。 ○愛媛新聞forスタディ ICT教育が本格始動するのを機に開発された新聞社の情報資産を活用した新しい教材				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	1人1台のタブレット端末という整備されたICT環境を最大限に活用し、デジタル新聞というアクセス容易な教材基盤を確立する。これにより、教員の教材準備の負担を軽減しつつ、持続可能で質の高い新聞学習の実施を可能にし、成果指標の達成を支える。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	660千円				660千円
総合計画成果指標					
成果指標名	新聞を取り入れた学習活動の率（小学校3年）			最終目標値(R9)	50%



【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	I C T支援員の配置			担当部署	学校教育課 学校教育係
目 標	目標3 未来を担う子どもたちが、たくましく健やかに育まれるまちを実現します				
政 策	政策2 学校教育の充実				
事業概要	学校でのI C T活用をサポートすることにより、教職員が授業等を円滑に行うこと、子どもたちの主体的・協働的な学びを推進することができるよう、I C T支援員を配置する。 ICT支援員の主な業務 ①ICT機器を活用した授業の機器操作補助 ②ICT機器のトラブル発生時の一次対応 ③児童生徒・教職員への端末及びソフトウェアの操作指導 ④ICT活用提案 等				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	ICT支援員のサポートにより、タブレット端末等を活用した分かりやすく魅力的な授業を展開し、児童生徒の主体的・協働的な学びを直接的に促進することで、学校生活満足度の向上に寄与する。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	2,988千円				2,988千円
総合計画成果指標					
成果指標名	児童生徒の学校生活満足度（学校評価）			最終目標値(R9)	90%
成果指標名	新聞を取り入れた学習活動の率（小学校3年）			最終目標値(R9)	50%

【生涯学習分野】

目標 4 身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します

政策 1 青少年の健全育成

政策 2 生涯学習環境の整備

政策 3 人権尊重・男女共同参画の推進

政策 1 青少年の健全育成

【実施計画事業】

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	青少年健全育成事業			担当部署	社会教育課 社会教育係
目 標	目標 4 身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します				
政 策	政策 1 青少年の健全育成				
事業概要	町内に在住・在学する青少年が、映像制作技術や情報モラルへの理解を深めながら、砥部町の魅力を再発見し、創造性を活かして動画にまとめ、SNSなどのメディアを通じて発信することで、砥部町への愛着と誇りを育み、シビックプライドの醸成を図ることを目的とする。 フィールドワークや映像の撮影・編集の講座、情報モラルやメディアリテラシーに関する講座を実施する。参加者各自が発信したい内容を決め映像を作成し、公式SNSで公開し、成果発表を行う。				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	若者の町外流出や地域とのつながり希薄化を防ぐため、青少年が映像制作を通じて地域の魅力を自ら再発見・発信する機会を創出する。制作過程において、参加者や地域住民との協働を通じて社会性を育む。さらに、完成した動画をSNSで発信し、視聴した同世代のまちづくりへの参加意欲を喚起する波及効果を生み出すことで、地域全体でのシビックプライド醸成を図り、成果指標の確実な達成に寄与する。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	87千円				87千円
総合計画成果指標					
成果指標名	とべの里冒険クラブ参加者数（累計）			最終目標値(R9)	90人
成果指標名	青少年ボランティアリーダー養成事業登録者数（累計）			最終目標値(R9)	40人

政策2 生涯学習環境の整備

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	教育委員会（公民館）が主催する教室及び生涯学習事業			担当部署	社会教育課 公民館係
目 標	目標 4 身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します				
政 策	政策 2 生涯学習環境の整備				
事業概要	実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、住民の教養の向上、健康の増進、情操の鈍化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するために、教室や生涯学習事業を実施する。 ○中央公民館 ・とべっ子文化の広場教室 ・砥部町文化クラブ ・学びの講座（短期・通年） ○ひろた交流センター 各種教室等				
【重要】 KPIへの寄与・因果関係	中央公民館及びひろた交流センターを拠点として、「とべっ子文化の広場教室」をはじめとする多様な講座や各種教室を計画的かつ継続的に企画・開催することにより、対象となる事業の開催実績を積み重ね、成果指標である実施回数の確実な向上に直接的に寄与する。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	9,913千円				9,913千円
総合計画成果指標					
成果指標名	教育委員会（公民館）が主催する教室及び生涯学習事業の実施回数（累計）			最終目標値(R9)	650回

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	教育委員会（公民館）が実施する事業のホームページ及び広報紙等での情報発信事業			担当部署	社会教育課 公民館係
目 標	目標 4 身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します				
政 策	政策 2 生涯学習環境の整備				
事業概要	各種事業の情報発信を魅力ある内容にするため、周知方法の検証を行うとともに、ホームページや広報紙等を活用して広く情報発信を行う。 ・ホームページ ・広報誌 ・LINE ・チラシ 				
【重要】 KPIへの寄与・因果関係	各種講座やイベントの開催情報を、ホームページや広報紙、公式LINE、チラシといった多様な媒体を用いて定期的かつ戦略的に発信することにより、成果指標である「教育委員会（公民館）が実施する事業のホームページ及び広報紙等での情報発信件数」の直接的な数値向上に寄与する。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	95千円				95千円
総合計画成果指標					
成果指標名	教育委員会（公民館）が実施する事業のホームページ及び広報紙等での情報発信件数			最終目標値(R9)	36件

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	読書活動推進事業			担当部署	社会教育課 社会教育係
目 標	目標 4 身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します				
政 策	政策 2 生涯学習環境の整備				
事業概要	令和 4 年10月から運用を開始した電子図書館を広報等で周知することにより利用を促進し、読書機会の拡大につなげる。また、学校の授業で活用する等、学校との連携を図り、児童生徒の読書活動を推進する。				
【重要】 KPIへの寄与・因果関係	電子図書館の積極的な広報により、時間や場所を問わない読書環境を提供し、新規・既存利用者の貸出冊数増加を図る。また、学校等の教育現場との協働により児童生徒から家庭へと利用の輪を広げる相乗効果を生み出すとともに、非来館型のデジタル基盤を定着させることで持続可能な生涯学習環境を強化する。これまで図書館を利用していなかった層も含めた町民全体の読書習慣を形成する波及効果をもたらすことで、成果指標の安定的かつ持続的な向上に寄与する。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	726千円				726千円
総合計画成果指標					
成果指標名	電子図書の貸出冊数			最終目標値(R9)	5,000冊

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	地域学校協働活動推進事業			担当部署	社会教育課 社会教育係
目 標	目標 4 身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します				
政 策	政策 2 生涯学習環境の整備				
事業概要	町内全ての小・中学校を対象にコミュニティ・スクール（学校運営協議会）の協議により地域住民の協力を得て地域学校協働活動を実施する。				
【重要】 KPIへの寄与・因果関係	地域学校協働活動を通じて、子どもたちと地域住民が交流する機会を創出し、地域全体の教育への関心と理解を深める。地域が一体となって子どもを育む機運醸成の波及効果として、各学校でのコミュニティ・スクール運営を活性化させることにより、成果指標の維持に寄与する。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	1,652千円				1,652千円
総合計画成果指標					
成果指標名	コミュニティ・スクールの導入校			最終目標値(R9)	5校

政策3 人権尊重・男女共同参画の推進

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	男女共同参画推進事業			担当部署	企画財政課 企画政策係
目 標	目標 4 身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します				
政 策	政策 3 人権尊重・男女共同参画の推進				
事業概要	地域社会や町の政策・方針決定過程への女性参画を促すために、関係課と連携し、審議会等への女性委員の登用を促進する。 男女共同参画推進本部及び委員会を開催し、あらゆる施策に男女共同参画の視点を反映する。 男女共同参画の視点に立った意識改革を行うために、住民及び職員対象に講演会や研修会を実施する。			 男女共同参画講座の様子	
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	住民や職員を対象とした講演会等により、町全体の意識改革を図り、女性が社会参画しやすい土壌を形成する。その上で、関係課と連携し、各附属機関（審議会等）の委員改選時期に女性委員の積極的な選出を直接的に働きかける。この『意識啓発』と『登用促進』を両輪で進めることにより、町の政策・方針決定過程への女性参画を実質的に促し、成果指標である『町附属機関における女性委員の比率』の向上（令和9年度目標40.0%の達成）に寄与する。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	91千円				91千円
総合計画成果指標					
成果指標名	町附属機関における女性委員の比率			最終目標値(R9)	40.0%

【実施計画事業】

【実施計画】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	人権教育推進事業			担当部署	社会教育課 社会教育係
目 標	目標 4 身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します				
政 策	政策 3 人権尊重・男女共同参画の推進				
事業概要	同和問題をはじめとするあらゆる人権問題について正しく認識するため、年 6 回の講座を開催する。人権の固いイメージを払拭できるような親しみやすいテーマを設定するなど、内容を工夫するだけでなく、新たな町内の団体へ受講案内を送付するなど、受講者の拡大に向けた取組を実施する。				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	毎年度受講している町内団体等の既存参加者に加え、新たに民間企業や各種地域団体と連携し、組織的な参加を働きかける。地域社会や企業等と行政が協働して人権尊重の機運を醸成し、相互に受講を促す相乗効果を生み出すことにより、人権基礎講座への参加者数の拡大に寄与する。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	933 千円				933 千円
総合計画成果指標					
成果指標名	人権基礎講座への参加者数			最終目標値(R9)	420 人

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	砥部町特定事業主行動計画			担当部署	総務課 人事係
目 標	目標4 身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します				
政 策	政策3 人権尊重・男女共同参画の推進				
事業概要	女性職員の活躍と全職員のワークライフバランスの実現に向けた取組みを推進するため策定している「特定事業主行動計画」を基に、男女共同参画の推進を図る。				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	特定事業主行動計画に基づき、男性の育児休業取得の推進や多様で柔軟な働き方を選択できる環境整備と意識改革を行う。ワークライフバランスを実現し働きやすい職場にすることで、職員の働く意欲が向上し、管理職を担える女性職員や目指す女性職員の増加に繋げることでKPIの達成に寄与する。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	0千円				0千円
総合計画成果指標					
成果指標名	一般行政職における女性管理者の登用率			最終目標値(R9)	25.0%

【文化・スポーツ分野】

目標 5 文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します

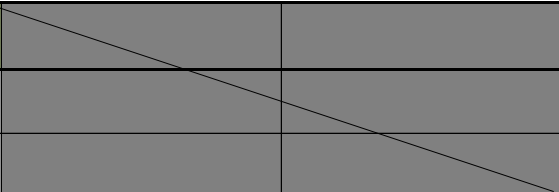
政策 1 文化活動の推進

政策 2 文化財の保護と活用

政策 3 スポーツ活動の推進

政策 1 文化活動の推進

【実施計画事業】

【実施計画】		【事業計画】		【成果計画】	
区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	文化施設等維持・管理事業			担当部署	社会教育課 文化スポーツ係
目 標	目標 5 文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します				
政 策	政策 1 文化活動の推進				
事業概要	文化・芸術活動の拠点となっている文化会館について、利用者に安全快適に利用してもらうため適正な維持管理を行う。 【主な修繕工事等】 令和 7 年度～9 年度 砥部町文化会館舞台機構設備改修工事（継続費）				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	舞台機構の全面的な改修を行うことで、利用者が「安全・安心」に利用できる強固な運営基盤を整備する。 このハード面の刷新により、利用団体の活発な利用を促進し、結果としてより多くの利用者を確保を図るとともに、目標達成に寄与する。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	160,355千円				160,355千円
総合計画成果指標					
成果指標名	文化会館の利用者数			最終目標値(R9)	85,000人

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	発表会・展示会等の開催事業			担当部署	社会教育課 公民館係
目 標	目標 5 文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します				
政 策	政策 1 文化活動の推進				
事業概要	町内の各種団体や学校、教室生などと協働してフェスタを実施する。 ・芸術文化フェスタ（中央公民館、文化会館） ・広田ふるさとフェスタ（ひろた交流センター） 社会教育施設の空きスペースを活用し町内の各種団体や学校、教室生などの作品を展示する。     				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	中央公民館、文化会館、ひろた交流センター等の社会教育施設を拠点とし、「芸術文化フェスタ」や「広田ふるさとフェスタ」、および通年の「ロビー展」を計画的に実施・運営することにより、対象となる生涯学習事業の開催実績を直接的に積み上げ、成果指標である実施回数の確実な向上に寄与する。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	4,818千円				4,818千円
総合計画成果指標					
成果指標名	発表会・展示会等の開催回数			最終目標値(R9)	3回

政策2 文化財の保護と活用

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	文化財等活用事業			担当部署	社会教育課 文化スポーツ係
目 標	目標5 文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します				
政 策	政策2 文化財の保護と活用				
事業概要	住民の文化財への理解を深め、文化財に親しむ機会を設けることで、本町文化の振興・発展を図る。 【学習会や講座等の開催】 ・歴史文化講座 ・指定文化財・埋蔵文化財包蔵地等の地域説明会 ・砥部焼の歴史・文化調査研究報告会（フォーラム） ・水満田古墳公園見学対応 【文化財等の展示】 ・井上正夫資料室（文化会館） ・埋蔵文化財展示室（中央公民館）				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	展示や講座を通じて地域の敵視的価値に触れる機会を創出し、文化財に対する関心と理解を深めることで、成果指標の達成に寄与するとともに、貴重な歴史的資産である文化財を次世代へ継承することで、KPIの達成に寄与している。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	95千円				95千円
総合計画成果指標					
成果指標名	文化財を活用した学習会や講座等の開催数			最終目標値(R9)	8回
成果指標名	文化財展示室入場者数			最終目標値(R9)	2,000人

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	文化財等保護事業			担当部署	社会教育課 文化スポーツ係
目 標	目標5 文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します				
政 策	政策2 文化財の保護と活用				
事業概要	文化財保護意識の啓発とともに、潜在文化財の調査研究を行い、必要に応じて文化財として指定する等、適切に文化財等を保護する。 ・文化財保護審議会の開催 ・伝統芸能及び指定文化財等の保存顕彰 ・砥部焼の歴史・文化の調査研究（坪内家文書の撮影・解説、砥部焼窯跡調査等） ・埋蔵文化財包蔵地の調査及び周知 ・埋蔵文化財に影響を及ぼす恐れのある開発事業等の早期把握及び試掘調査等				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	砥部焼の歴史や文化他潜在文化財の調査研究により、指定の候補の対象を発掘・選定する。また、文化財保護審議会を適切に開催し、専門的な審議を経て価値を明確化することで、文化財新規指定に寄与する。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	1,130千円				1,130千円
総合計画成果指標					
成果指標名	新規の文化財等指定件数（累計）			最終目標値(R9)	3件



政策3 スポーツ活動の推進

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	スポーツ・レクリエーション大会の開催			担当部署	社会教育課 文化スポーツ係
目 標	目標5 文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します				
政 策	政策3 スポーツ活動の推進				
事業概要	住民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ事業に参加し、住民同士の交流を深める機会を提供する。 【スポーツ大会8種目】（スポーツ協会委託事業） ソフトテニス、バレーボール、卓球、軟式野球、ソフトボール、レクバレー、バドミントン、テニス 【レクリエーションスポーツ大会4種目】 クロッケー、スポーツまつりinとべ、ジュニア駅伝、ウォークラリー 				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	多様な競技に多くの住民が参加することで、競技会場に多世代の人々が集まる場を提供することで、スポーツという共通の目的を持って互いに体を動かしながら汗を流し、自然な会話や協力関係を生み出し、地域コミュニティの満足度向上へ寄与する。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	2,876千円				2,876千円
総合計画成果指標					
成果指標名	スポーツ・レクリエーション大会の開催数			最終目標値(R9)	維持

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	社会体育施設維持管理事業			担当部署	社会教育課 文化スポーツ係
目 標	目標5 文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します				
政 策	政策3 スポーツ活動の推進				
事業概要	安全で快適にスポーツ活動を行える環境を住民に提供する。 ・砥部町陶街道ゆとり公園体育館屋根塗装工事設計委託 ・砥部町陶街道ゆとり公園武道場外壁等改修工事設計委託 ・砥部町陶街道ゆとり公園グラウンドゴルフ場木柵等改修工事 				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	社会体育施設の維持管理事業において、適切な維持管理を実施することで、設備の延命化を図るとともに、利用者の安全・安心・快適性を担保し、利用人数を確保するため、目標の達成に寄与する。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	56,699千円				56,699千円
総合計画成果指標					
成果指標名	社会体育施設等の利用人数			最終目標値(R9)	234,000人

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	ニュースポーツ推進事業			担当部署	社会教育課 文化スポーツ係
目 標	目標5 文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します				
政 策	政策3 スポーツ活動の推進				
事業概要	「誰もが、いつでも、どこでも、気軽に自由に楽しめる」スポーツである「ニュースポーツ」の普及を推進し、スポーツを通じた町民の健康増進及び地域コミュニティの活性化を図る。 町職員やスポーツ推進委員を講師として、ニュースポーツの体験会を開催する。 種目は下記の4種目を中心に対応。 ペタンク、ボッチャ、モルック、スポーツ吹矢				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	ニュースポーツは年齢や運動神経を問わず、誰もが楽しめる特性を持っているため、体験会を通じて、体を動かす楽しさを味わうことができ、その結果町民の健康増進が図られるとともに、地域コミュニティの活性化を図ることでKPIの達成に寄与する。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	0千円				0千円
総合計画成果指標					
成果指標名	ニュースポーツに関する体験会や講座等の開催数			最終目標値(R9)	10回



いそどり

人々の交流や産業の発展により本町に生まれる彩り

【産業分野】

目標 6 多彩な地域資源を活かし、人や地域が潤うまちを実現します

政策 1 商工業の振興

政策 2 農林水産業の振興

政策 1 商工業の振興

【実施計画事業】

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	商工業振興事業			担当部署	商工観光課 商工労政係
目 標	目標 6 多彩な地域資源を活かし、人や地域が潤うまちを実現します				
政 策	政策 1 商工業の振興				
事業概要	商工会が行う小規模事業者に対する経営改善普及事業に対し交付金を交付する。また、融資制度や各種支援事業の行政施策を商工会と連携しながら展開する。				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	地元企業の経営安定化を目的とした融資制度の利子補給や創業支援事業を充実させることで、地域におけるビジネス環境の魅力を高める。行政の支援策が商工会を通じた窓口で展開されることにより、事業者の経営改善意識と加入意欲を刺激し、間接的に成果指標の向上につながる。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	7,000千円				7,000千円
総合計画成果指標					
成果指標名	商工会組織率			最終目標値(R9)	65%

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	サテライトオフィス開設支援補助金事業			担当部署	商工観光課 商工労政係
目 標	目標 6 多彩な地域資源を活かし、人や地域が潤うまちを実現します				
政 策	政策 1 商工業の振興				
事業概要	町内にサテライトオフィスを開設する企業に対して補助金を交付する。 【制度概要】 ・対象企業：町内において新規にサテライトオフィス等を設置する企業で、情報通信業、学術研究・専門技術サービス業、教育・学習支援業のいずれかを3年以上継続して営む企業で町内にて5年以上継続して業務を行うことを誓約できる企業。 ・使途：整備費または施設運営費 ・補助限度額：整備費は500,000円、施設運営費は月200,000円 ・対象期間：整備費については1回限り、施設運営費については36ヶ月間				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	本事業は、補助金によって企業の進出初期における企業の財務負担を段階的に軽減するものである。本制度を戦略的に広くPRするとともに、本町の立地の優位性や良好なビジネス環境を広く発信することで、新たなビジネス拠点を模索する都市部企業の進出意欲を高め企業誘致達成につながる。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	2,900千円				2,900千円
総合計画成果指標					
成果指標名	企業誘致件数（累計）			最終目標値(R9)	2 件

政策 2 農林水産業の振興

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	農地中間管理事業			担当部署	農林課 農業振興係
目 標	目標 6 多彩な地域資源を活かし、人や地域が潤うまちを実現します				
政 策	政策 2 農林水産業の振興				
事業概要	農地の有効利用の継続や農業経営の効率化を進めるため、設立されている機構の業務の一部を受託することで、事業の円滑な実施を支援する。 令和 9 年度農地中間管理事業等委託費 需用費（印刷製本費、消耗品等）25 千円 役務費（通信運搬費、雑役務費）25 千円				
【重要】 KPI への寄与・因果関係	本事業は、農地中間管理機構（農地バンク）と協力し、地域の中心となる担い手への農地集積・集約化を加速され、これにより遊休農地の発生防止・解消、農業経営の規模拡大によるコスト削減、および地域農業の持続可能性が高まり、遊休農地の再生利用率の増加につながり、また農地の権利設定割合の向上につながる。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	50 千円				50 千円
総合計画成果指標					
成果指標名	耕地面積に対する遊休農地の再利用率			最終目標値 (R9)	14.4%
成果指標名	耕地面積に対する農用地利用集積計画などによる権利設定割合			最終目標値 (R9)	53.0%

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	マルチ栽培推進事業			担当部署	農林課 農業振興係
目 標	目標 6 多彩な地域資源を活かし、人や地域が潤うまちを実現します				
政 策	政策 2 農林水産業の振興				
事業概要	果実の品質向上対策として、マルチ栽培を推進するための資材購入費に対して助成を行う。 令和 9 年度事業計画 補助対象資材 タイベック（スーパーソフト、ソフト、ハード） TS アップシート 補助率 一般農家 1/3 以内 認定農業者 1/2 以内				
【重要】 KPI への寄与・因果関係	本町における農業は、近年、気候変動に伴う集中豪雨や日照不足等により、果樹栽培における糖度低下や着色不良、病害の発生が課題となっているため、マルチ栽培に必要な資材購入を支援することで、継続的な産地の拡大と収益性の向上を図るとともに、認定農業者の補助率を優遇することにより認定農業者が確保され、成果指標である農業所得申告者に対する認定農業者の割合の増加につながる。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	1,000 千円				1,000 千円
総合計画成果指標					
成果指標名	農業所得申告者に対する認定農業者の割合			最終目標値 (R9)	22%

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	奨励果樹等育成対策事業			担当部署	農林課 農業振興係
目 標	目標 6 多彩な地域資源を活かし、人や地域が潤うまちを実現します				
政 策	政策 2 農林水産業の振興				
事業概要	果樹等の産地化を進めるため、農業団体が推奨する優良品種の苗木購入費に助成を行う。 令和 9 年度事業計画 補助対象作物 ○柑橘：温州みかん（極早生除く。）、はれひめ、宮内伊予柑、愛媛果試第28号、甘平、せとか、愛媛果試第48号 ○落葉果樹：キウイフルーツ、栗 ○野菜（苗）：筑陽ナス、ピーマン、キュウリ、ブロッコリー、トマト、キャベツ ○野菜（種子）：インゲン・キヌサヤ、キャベツ、ホウレンソウ、タマネギ、トマト 補助率 補助単価固定（認定農業者は一般農家の1.5倍）				
【重要】 KPIへの寄与・因果関係	本町における農業は、従事者の高齢化や後継者不足、それに伴う園地の荒廃が課題となっているため、奨励果樹等の苗木等の購入を支援することにより、栽培面積の確保・拡大を促し、もって持続可能な産地の形成と農業経営の収益性向上が図られることにより、成果指標である【愛媛果試第28号生産量】の増加につながる。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	4,629千円				4,629千円
総合計画成果指標					
成果指標名	奨励果樹（愛媛果試第28号）生産量			最終目標値(R9)	700 t

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	果樹産地強化支援事業			担当部署	農林課 農業振興係
目 標	目標 6 多彩な地域資源を活かし、人や地域が潤うまちを実現します				
政 策	政策 2 農林水産業の振興				
事業概要	高収益作物栽培体系への転換を図るための取り組みを支援する経費に対して助成を行う。 令和 9 年度事業計画 補助対象経費 P Oフィルム、谷樋資材、自動巻き上げ機 補助率 事業費の 1 / 2				
【重要】 KPIへの寄与・因果関係	本町における農業は、従来の低収益な栽培体系では農家経営の継続が困難になりつつある。地域の農業所得を向上させ、持続可能な産地を維持するためには収益性の高い「高収益作物」への栽培体系の転換が急務である。本事業では、施設栽培における雨水侵入対策や被覆資材の耐久性向上等に係る資材を購入を支援することで品質の向上及び技術の定着による栽培面積の拡大が図られ、成果指標である【愛媛果試第28号生産量】の増加につながる。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	10, 188千円				10, 188千円
総合計画成果指標					
成果指標名	奨励果樹（愛媛果試第28号）生産量			最終目標値(R9)	700 t

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	ひろた地域づくり協議会活動事業（旧 6 次産業化支援事業）			担当部署	農林課 農業振興係
目 標	目標 6 多彩な地域資源を活かし、人や地域が潤うまちを実現します				
政 策	政策 2 農林水産業の振興				
事業概要	6 次産品の製造拠点となる旧給食センターの光熱水費維持管理費の支援を行う。 光熱水費：220 千円 清掃費用：132 千円 害虫駆除：66 千円 洗剤等消耗品費：8 千円				
【重要】 KPI への寄与・因果関係	6 次産品の製造に必要な旧給食センターの維持管理費を支援し、地域住民による広田地域の豊かな自然と農産物を活かした 6 次産品の製造・販売などを行うことで、地域の活性化につながり成果指標である【6 次産業開発数】の増加に寄与する。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	426 千円				426 千円
総合計画成果指標					
成果指標名	6 次産品開発数（累計）			最終目標値 (R9)	12 品

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	拡大して継続
事業名	新規就農育成総合対策事業			担当部署	農林課 農業振興係
目 標	目標 6 多彩な地域資源を活かし、人や地域が潤うまちを実現します				
政 策	政策 2 農林水産業の振興				
事業概要	【経営開始資金】 認定新規就農者の経営開始資金として 13.75 万円/月（165 万円/年）× 3 年間で支援する。 【経営発展支援事業】 認定新規就農者が経営発展のための機械・施設等の導入に係る事業費（上限 1,000 万円（経営開始資金の交付対象者は上限 500 万円））に対して補助を行う。				
【重要】 KPI への寄与・因果関係	経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して、経営開始資金や、就農後の経営発展のための機械の購入や施設の整備に係る経費の一部を支援することにより、就農意欲の喚起と就農後の定着が図られ、認定新規就農者数の増加に直結する。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	2,490 千円				2,490 千円
総合計画成果指標					
成果指標名	認定新規就農者数（累計）			最終目標値 (R9)	15 人

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	森林整備事業			担当部署	農林課 林業振興係
目 標	目標 6 多彩な地域資源を活かし、人や地域が潤うまちを実現します				
政 策	政策 2 農林水産業の振興				
事業概要	本町の森林整備は、砥部町森林整備計画に基づき森林組合が森林経営計画を策定し事業を進めており、間伐や林内作業道開設・改良等について、国・県・町の補助金を活用し、健全な森林づくりを目指す。 また、森林環境譲与税を財源とした森林経営管理制度により、管理の行き届いていない森林を森林所有者の同意の上、町が経営管理権を設定し、必要に応じて保育間伐を実施する。				
【重要】 KPIへの寄与・因果関係	計画的な間伐や林道維持管理の継続は、森林内への適度な受光を促し、下層植生の繁茂をもたらす。これにより、大雨時における土砂流出の抑制及び地球温暖化の原因となるCO2の吸収源としての機能が保全される。結果、森林の多目的機能が維持され、強く健全な森林環境を創出し、災害に強い安全な町づくりに直結する。また、保育間伐を推進し優良木の選別を行うことで、将来的な木材価値の向上が見込まれ、林業の収益性が高められ継続的な林業の維持繋げることでKPIの達成に寄与する。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	37,000千円				37,000千円
総合計画成果指標					
成果指標名	林内作業道開設・改良延長距離			最終目標値 (R9)	20,000m
成果指標名	森林経営管理権集積計画による森林整備			最終目標値 (R9)	150ha



【観光・交流分野】

目標 7 多くの人々が訪れる交流の活発なまちを実現します

政策 1 観光の振興

政策 2 移住・定住推進と空き家の利活用

政策 1 観光の振興

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	砥部焼振興事業			担当部署	商工観光課 砥部焼観光係
目 標	目標 7 多くの人々が訪れる交流の活発なまちを実現します				
政 策	政策 1 観光の振興				
事業概要	砥部焼の販路拡大と砥部焼業界の振興を図るために、砥部焼関係団体への支援、砥部焼まつり等開催経費の一部負担や後継者育成事業を実施する。 ・砥部焼振興事業交付金 13,105千円 (砥部焼協同組合10,000千円・砥部焼販売協同組合2,000千円・愛媛陶芸協会605千円・砥部焼女性団体200千円・松山南高等学校砥部分校300千円) ・後継者育成事業 2,496千円 (砥部焼陶芸塾2,112千円・陶画教室384千円) ・イベント開催負担金 20,000千円 (春の砥部焼まつり4,000千円・秋の砥部焼まつり8,000千円・まつやま花園砥部焼まつり8,000千円等) ・その他関連事業				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	本事業は、砥部焼の生産体制維持から情報発信までを総合的に支援するものである。 イベント開催負担金により、町内外に向けた強力な情報発信と誘客を図ることで、「観光イベント開催による入り込み客数」の増加に直接的に寄与する。また、イベントを契機とした町内周遊を促すとともに、後継者育成や関係団体への支援を通じて、観光の核となる「砥部焼」の魅力と生産基盤を維持・向上させることで、年間を通じた「観光施設への入り込み客数」の安定的な確保と増加へと繋げる。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	35,601千円				35,601千円
総合計画成果指標					
成果指標名	観光イベント開催による入込み客数			最終目標値(R9)	151,000人
成果指標名	観光施設への入込み客数			最終目標値(R9)	1,011,000人

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	砥部焼伝統産業会館施設管理事業			担当部署	商工観光課 砥部焼観光係
目 標	目標 7 多くの人々が訪れる交流の活発なまちを実現します				
政 策	政策 1 観光の振興				
事業概要	伝統的工芸品「砥部焼」産業の振興を図り、地域経済の発展に寄与するため、砥部焼の歴史的資料や優秀作品を展示紹介するとともに、窯元の創作意欲の喚起と技術の向上を図るため、特別展等を開催する。 なお、砥部焼伝統産業会館と陶芸創作館の統合（機能集約）を検討しており、令和10年度に1年間休館して施設改修を行い、陶芸創作館の機能を移転することを計画している。				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	砥部焼の歴史的資料や優秀作品の展示紹介を適切に行うとともに、魅力的な特別展や企画展を開催することにより、町内外から多くの来館者を呼び込み、観光施設への入込み客数の向上に直接的に寄与する。 また、砥部焼伝統産業会館と陶芸創作館を統合（機能集約）することにより、経営改善、集客力向上につながる。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	30,149千円				30,149千円
総合計画成果指標					
成果指標名	観光施設への入込み客数			最終目標値(R9)	1,011,000人

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	峡の館施設管理事業			担当部署	商工観光課 砥部焼観光係
目 標	目標 7 多くの人々が訪れる交流の活発なまちを実現します				
政 策	政策 1 観光の振興				
事業概要	地域資源を活用した特産品などの販売を行い、都市と農村の交流を図るため、指定管理者による効率的な運営に努める。 本施設は、今後道の駅の登録抹消、売却又は廃止を検討しており、公共施設等総合管理計画どおりに維持修繕を実施するか検討する必要がある。 ○外壁補修工事 一式 ○屋根改修工事 一式				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	広田地域の特産品等の販売や都市と農村の交流拠点である「峡の館」について、指定管理者と連携した効率的な運営と魅力ある店舗づくりを行うことで直接的に集客力を高め、観光施設への入込み客数の向上に直接的に寄与する。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	11,311千円				11,311千円
総合計画成果指標					
成果指標名	観光施設への入込み客数			最終目標値(R9)	1,011,000人

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	陶芸創作館施設管理事業			担当部署	商工観光課 砥部焼観光係
目 標	目標 7 多くの人々が訪れる交流の活発なまちを実現します				
政 策	政策 1 観光の振興				
事業概要	本町の伝統的工芸品である砥部焼の「創る」楽しさを広く提供し、体験型観光を推進することで、観光客の多様なニーズに応えとともに、交流人口の拡大と地域文化の継承を図る。 なお、砥部焼伝統産業会館と陶芸創作館の統合（機能集約）を検討しており、令和10年度に伝統産業会館を1年間休館して施設改修を行い、陶芸創作館の機能を移転することを計画している。陶芸創作館の跡地利用については検討中である。				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	自ら砥部焼を作るという特別な体験を通じて本町の伝統文化の魅力を発信し、参加者の口コミや再訪意欲を喚起して周辺の窯元や観光拠点への回遊を促すことで、波及的に観光施設への入込み客数の増加に寄与する。 砥部焼伝統産業会館と陶芸創作館を統合（機能集約）することにより、経営改善、集客力向上につながる。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	25,582千円				25,582千円
総合計画成果指標					
成果指標名	観光施設への入込み客数			最終目標値(R9)	1,011,000人

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	農村工芸体験館施設管理事業			担当部署	商工観光課 砥部焼観光係
目 標	目標 7 多くの人々が訪れる交流の活発なまちを実現します				
政 策	政策 1 観光の振興				
事業概要	本町の豊かな自然や地域資源を活かした農村工芸体験プログラムの提供を行い、都市と農村の交流を図るため、指定管理者による効率的な運営に努める。 本施設は、今後売却・譲渡または廃止を検討している。				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	都市と農村の交流拠点である「農村工芸体験館」において、指定管理者と連携した効率的な運営と本町の地域資源を活かした魅力的な工芸体験プログラム「体験消費」を直接的に企画・提供することにより、観光客の多様なニーズに応じて来館者を増加させ、観光施設への入込み客数の向上に直接的に寄与する。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	1,402千円				1,402千円
総合計画成果指標					
成果指標名	観光施設への入込み客数			最終目標値(R9)	1,011,000人

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	県施設との連携イベント事業			担当部署	商工観光課 砥部焼観光係
目 標	目標 7 多くの人々が訪れる交流の活発なまちを実現します				
政 策	政策 1 観光の振興				
事業概要	大型観光施設を運営する愛媛県と連携し、とべもりエリアを活性化し、本町の特性を生かした交流人口の増加を図る。 ・とべ動物園との連携事業（砥部焼の絵付体験を実施） ・えひめこどもの城との連携事業（砥部焼ろくろ体験を実施） ・砥部焼磁器創業250周年事業の一環として連携事業を実施する。・・・（事業費は砥部焼磁器創業250周年事業に含む。） ※イベント内容については、随時県と調整のうえ見直す。				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	本事業は、高い集客力を持つとべもりエリア（とべ動物園・えひめこどもの城）の来園者をターゲットに、砥部焼の絵付・ろくろ体験を提供するものである。ファミリー層を中心に伝統工芸に触れる「体験消費」の機会を創出することで、とべもりエリア全体の魅力向上と滞在時間の延長を図る。さらに、体験を通じて砥部焼への興味・関心を喚起し、町内の観光施設（陶芸創作館や伝統産業会館等）への周遊・回遊を促進することで、「観光施設への入り込み客数」の増加に寄与する。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	0千円				0千円
総合計画成果指標					
成果指標名	観光施設への入込み客数			最終目標値(R9)	1,011,000人

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	ブランド化の中核を担う体制の整備事業			担当部署	商工観光課 砥部焼観光係
目 標	目標 7 多くの人々が訪れる交流の活発なまちを実現します				
政 策	政策 1 観光の振興				
事業概要	令和 9 年度に一般社団法人へと移行する砥部町観光協会が本町の観光・ブランド化の司令塔となり中核的な活動を実施するための補助金を交付する。 法人格の取得により向上が見込まれる事業推進力を活かし、民間手法を取り入れた戦略的なマーケティングやプロモーション、地域事業者と連携した旅行商品・周遊コンテンツの造成及び持続可能な観光地域づくりに向けた自主財源確保（収益事業）等に取り組むための体制整備と事業展開を支援する。				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	本事業は、観光協会とともに町内に点在する優れた地域資源を有機的に結びつけ、地域一体となってブランド化を推進する体制づくりの基盤となるものである。 専門的な組織による戦略的なブランド発信により、本町の認知度と魅力を高め、新たな来訪動機を創出する。また、中核組織がハブとなり、点在する観光資源や施設を繋いだパッケージ化・周遊ルートの造成を行うことで、来訪者の滞在時間延長と町内回遊を強力に促進する。これら「誘客力の強化」と「回遊性の向上」の両輪を機能させることで、「観光施設への入り込み客数」の持続的かつ相乗的な増加に寄与する。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	10,688千円				10,688千円
総合計画成果指標					
成果指標名	観光施設への入り込み客数			最終目標値(R9)	1,011,000人

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	観光コンテンツの充実事業			担当部署	商工観光課 砥部焼観光係
目 標	目標7 多くの人々が訪れる交流の活発なまちを実現します				
政 策	政策1 観光の振興				
事業概要	「愛媛サイクリングの日」に合わせ、親子で砥部の魅力を堪能できるサイクルイベントを開催し、交流人口の拡大、自転車文化の振興を図る。 本町の優れた地域資源を結ぶ陶街道五十三次スタンプラリー等の事業を実施する。 町内に拠点を置く団体が実施する陶街道沿線でのイベントなどに、陶街道応援事業助成金を交付し、魅力あるふるさとづくりと地域の活性化を図る。 S N Sを活用した情報発信を行う。				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	「愛媛サイクリングの日」の全県的な広報効果と連動し、親子向けサイクルイベントを開催するものである。従来の「砥部焼」を中心とした文化観光に加え、「アウトドア・スポーツレジャー」という新たな体験型コンテンツを提供することで、これまでアプローチできていなかったアクティブなファミリー層や自転車愛好家等の新規来訪を力強く促し、「観光イベント開催による入り込み客数」の直接的な増加に大きく寄与する。 「陶街道五十三次」を活用したスタンプラリーや周遊イベント、ガイドブック等の戦略的なプロモーションを展開し、町内外からの観光客を直接的に誘致する。町内全域への回遊をダイレクトに促し、各チェックポイントや周辺の主要観光施設への来訪者を増加させることで、成果指標の向上に直接的に寄与する。 民間団体が主催する特色ある観光イベントの開催を資金面や広報面から強力に支援し、町内外からの来訪者を直接的に呼び込む。民間活力を活かした魅力的なイベントが数多く開催されることで、イベント会場への来場者を確実に増加させ、成果指標の向上に直接的に寄与する。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	7,500千円				7,500千円
総合計画成果指標					
成果指標名	観光イベント開催による入り込み客数			最終目標値(R9)	151,000人

政策 2 移住・定住推進と空き家の利活用

【実施計画事業】

【実施計画】	区分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
	事業名	空き家バンク			担当部署	地域振興課 コミュニティ支援係
	目標	目標 7 多くの人々が訪れる交流の活発なまちを実現します				
	政策	政策 2 移住・定住推進と空き家の利活用				
	事業概要	空き家バンクに登録された町内で利活用可能な空き家情報をインターネット等で紹介し、町内で住宅を探している人や都市部からの移住を希望される方への情報提供を行う。登録物件増加に向けて、不動産会社からの情報収集や登録推奨チラシによる周知を行う。				
	【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	町内の利活用可能な空き家情報を収集し、所有者に対する空き家バンクへの登録推奨や不動産業者との連携を促進し空き家バンクへの登録物件が増加することで、地域の移住・定住促進による人口増加や放置空き家の解消（防災・防犯・衛生）が図られ、過疎化や空き家問題の解決に寄与する事業である。 令和7年度新規登録件数 25件、成約件数 13件 令和6年度新規登録件数 11件、成約件数 3件 令和5年度新規登録件数 6件、成約件数 6件				
		令和9年度				計画期間中の事業費計
	計画年度	●				
	事業費（千円）	0千円				0千円
総合計画成果指標						
	成果指標名	空き家バンク物件登録申請数（累計）			最終目標値(R9)	50件

【実施計画事業】

【実施計画】	区分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
	事業名	移住定住促進事業			担当部署	地域振興課 コミュニティ支援係
	目 標	目標 7 多くの人々が訪れる交流の活発なまちを実現します				
	政 策	政策 2 移住・定住推進と空き家の利活用				
	事業概要	大都市圏で開催される移住フェアへ参加するなど、移住に興味がある都市住民へ砥部町の魅力を伝えるためPRを行う。また、移住希望者が本町を訪れる機会を創出する施策として、移住体験ツアーを実施する。 【令和9年度】 移住フェア参加 5回 旅費901千円、通信運搬費36千円、駐車場使用料14千円 移住体験ツアー、SNS等による移住・定住情報の発信 随時				
	【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	大都市圏等で開催される移住フェアへの参加や移住体験ツアーの実施などを通じて、移住希望者に本町の魅力を直接発信することで、本町の認知度と関心度を高め、移住相談件数の増加や本町への訪問を促し、継続的な関係構築が最終的な移住決断を後押しすることとなる事業である。				
		令和9年度				計画期間中の事業費計
	計画年度	●				
	事業費（千円）	951千円				951千円
総合計画成果指標						
	成果指標名	県外からの移住者数			最終目標値(R9)	100人
	成果指標名	移住相談件数			最終目標値(R9)	100件



かいてき

本町の暮らしの利便性を高め、都市機能としての基盤強化を図る**快適**

【社会基盤分野】

目標 8 快適な住民生活を支える社会基盤を実現します

政策 1 計画的な土地利用

政策 2 住環境の整備

政策 3 交通環境の整備

政策 4 上下水道の整備

政策 1 計画的な土地利用

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	都市計画事業			担当部署	建設課 都市計画係
目 標	目標 8 快適な住民生活を支える社会基盤を実現します				
政 策	政策 1 計画的な土地利用				
事業概要	本格的な人口減少と少子高齢化の局面にあり、本町においても今後の人口減少、高齢化の進展、それに伴う財政負担の増大が懸念される。このような背景のもと、将来にわたり持続可能な都市経営を行い、住民が安心して暮らし続けられるまちづくりを推進するため、総合的な都市計画の指針となる「都市計画マスタープラン」と、コンパクト・プラス・ネットワークの仕組みを進める「立地適正化計画」を同時に策定する。 ■コンパクト・プラス・ネットワークのイメージ 出典：国土交通省資料				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	「都市計画マスタープラン」と「立地適正化計画」を同時に策定することで、計画の整合性はもちろんのこと、ビジョンに沿った計画的な土地利用と居住・都市機能の誘導が一体的に促され、成果指標の達成に大きく寄与する。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	27,000千円				27,000千円
総合計画成果指標					
成果指標名	都市計画区域内人口比率			最終目標値(R9)	45%
成果指標名	D I D(人口集中地区)面積			最終目標値(R9)	維持

政策 2 住環境の整備

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	空き家対策事業			担当部署	建設課 管理係
目 標	目標 8 快適な住民生活を支える社会基盤を実現します				
政 策	政策 2 住環境の整備				
事業概要	空き家の増加を抑制するため、空き家の除却や利活用などに取り組む。 老朽化し危険な空き家の除却について、補助を実施する。 【老朽危険空き家除却補助事業】 住宅地区改良法における不良度判定100点以上で道路に倒壊する恐れのある空き家が対象 補助上限額：800,000円 補助率：4/5 R9 3戸 2,400千円				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	空き家の除却補助制度を周知することで、空き家の取り壊しに悩む所有者からの相談件数の増加を図る。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	2,400千円				2,400千円
総合計画成果指標					
成果指標名	空き家相談窓口での相談件数			最終目標値(R9)	15件

政策3 交通環境の整備

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	通学路安全対策事業			担当部署	建設課 公共土木係
目 標	目標8 快適な住民生活を支える社会基盤を実現します				
政 策	政策3 交通環境の整備				
事業概要	近年、全国各地で登下校中に児童生徒が死傷する事件が相次いでいることから、関係機関の連携により「通学路の緊急合同点検」が実施されている。本町においても危険箇所について、必要な対策を協議し様々な安全対策に取り組んでいる。 これらの取り組みを継続的に確保するため、関係機関による連携体制を構築するとともに、「砥部町通学路安全対策プログラム」に基づき、定期的に合同点検を実施し、効果的な通学路の安全対策を進めていく。 【合同点検年度】 令和9年度（隔年予定） 【関係機関】 国土交通省（国道）・愛媛県（県道）・砥部町（町道）・砥部町教育委員会（学校）・PTA（保護者）・愛媛県警（規制） 【対策概要】 危険箇所の抽出及び安全対策の実施 1回の合同点検当り6～7箇所程度 区画線・路面標示の設置、グリーンラインの設置、転落防止・車両用防護柵の設置、道路反射鏡の設置、道路照明・防犯灯の設置、停止線・横断歩道の設置、支障木の伐採・撤去等				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	合同点検により指摘があった箇所の安全対策工事を行うことでKPI達成に寄与する。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	2,500千円				2,500千円
総合計画成果指標					
成果指標名	通学路の安全対策工事の実施箇所数（累計）			最終目標値(R9)	20箇所

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	道路ボランティア事業			担当部署	建設課 管理係
目 標	目標 8 快適な住民生活を支える社会基盤を実現します				
政 策	政策 3 交通環境の整備				
事業概要	国土交通省が推進しているボランティアサポートプログラムの「あいロード」として、地域住民、町、道の管理者が協力して除草や植樹など、道路の清掃美化を行うボランティア活動を実施する。 ○作業範囲：重信大橋砥部側～砥部焼観光センター（千足）約 5 km ○内容：歩道・植樹帯の清掃、除草等（中央分離帯は作業外） ○啓発回数：6 回 ○年間実施回数：6 回				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	地域住民、町、道の管理者が一体となったボランティアサポートプログラムを推進し、多様な主体が協働して清掃美化活動に取り組む。地域ぐるみでの参画意識の醸成と連携強化が相乗効果を生み、活動のさらなる活発化を促すことで、成果指標である道路美化活動・啓発回数の達成を強力に後押しする。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	100千円				100千円
総合計画成果指標					
成果指標名	道路美化活動・啓発回数			最終目標値(R9)	維持

【実施計画事業】

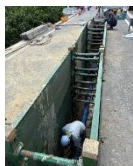
区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	のりあいタクシー運行事業			担当部署	地域振興課 ふるさと創生係
目 標	目標 8 快適な住民生活を支える社会基盤を実現します				
政 策	政策 3 交通環境の整備				
事業概要	交通空白地域・交通不便地域の解消を図るため、デマンド型ののりあいタクシーを運行し交通弱者の交通手段を確保する。 ○砥部のりあいタクシー運行事業 運行時間 月～土（年末年始、日、祝日除く） 9 時～16 時 運行範囲 乗車場所と同一区域内の所定乗降場所 料金 1 乗車 1 人当たり 200 円 ○広田のりあいタクシー運行事業 運行時間 月水金、砥部行広田行各 1 日 3 便 運行範囲 広田地区から砥部地区の乗降場所10か所 料金 1 乗車 1 人当たり 500 円				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	国道などの主要路線は路線バス等が担い、路線バスが廃線となった地域の方や高齢化により運転免許証を自主返納した方などの交通弱者をのりあいタクシーなどの地域公共交通（温泉バス・国保診療所送迎車）が担うことで、持続的な地域公共交通網が形成され、快適な住民生活を支える社会基盤の実現に寄与する事業である。 令和 9 年度見込 19,000 人 令和 8 年度見込 19,000 人 令和 7 年度実績 15,695 人				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	20,468千円				20,468千円
総合計画成果指標					
成果指標名	砥部・広田のりあいタクシー利用者数（延べ）			最終目標値(R9)	9,000 人

政策4 上下水道の整備

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	水道事業会計	事業方針	現状維持
事業名	水道管布設替事業（老朽管）			担当部署	上下水道課 水道工務係
目 標	目標 8 快適な住民生活を支える社会基盤を実現します				
政 策	政策 4 上下水道の整備				
事業概要	布設替事業（老朽管）主な事業 R7～R11 宮内地区（さかえ）配水管布設替工事 R12～R16 宮内地区（永立寺）配水管布設替工事				 水道管布設替工事
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	老朽化した配水管を耐震管に布設替することにより、大規模震災時における管路の破損・漏水リスクを最小限に抑制する。また、漏水が多発する管路を物理的に更新し、無駄に消失する無収水量（漏水）を直接的に削減することにより、成果指標である「水道事業有収率」の確実な向上に寄与する。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	40,000千円				40,000千円
総合計画成果指標					
成果指標名	水道事業有収率			最終目標値(R9)	87.0%

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	公共下水道事業会計	事業方針	現状維持
事業名	公共下水道整備事業			担当部署	上下水道課 下水道工務係
目 標	目標 8 快適な住民生活を支える社会基盤を実現します				
政 策	政策 4 上下水道の整備				
事業概要	公共下水道事業は下水道法事業計画で定めた、都市計画区域内 200.3haを令和12年度の完了を目標に整備をする計画としている。その実現に向けた公共下水道施設の整備を実施する。 【社会資本整備総合交付金】 ・事業概要 汚水管路延長 L=0.53km ●令和9年度 管渠布設工事、舗装復旧工事他				 (管渠布設工事状況)
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	本町の汚水処理整備は、公共用水域の水質保全や生活環境の改善を図るため、公共下水道事業等の整備を推進している。その整備手法の一つである公共下水道を整備することにより、汚水処理人口普及率が向上することで、KPIの達成に寄与する。 【砥部町汚水処理施設整備状況】 ①公共下水道1処理区（事業実施中） 所管：上下水道課 ②農業集落排水施設2処理区（事業完了） 所管：上下水道課 ③その他地区は合併処理浄化槽（事業実施中※個別助成事業） 所管町民課 ※町有集中合併浄化槽6施設（事業完了） 所管：(処理場)上下水道課、(管路)町民課				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	333,000千円				333,000千円
総合計画成果指標					
成果指標名	汚水処理人口普及率			最終目標値(R9)	83.8%

【生活・環境分野】

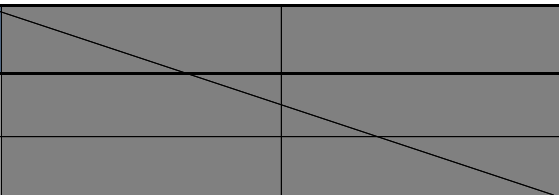
目標 9 豊かな自然と共に生きる環境整備を実現します

政策 1 自然環境の保全

政策 2 循環型社会の推進

政策 1 自然環境の保全

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	自然環境保全活動			担当部署	町民課 環境衛生係
目 標	目標 9 豊かな自然と共に生きる環境整備を実現します				
政 策	政策 1 自然環境の保全				
事業概要	 ・町内一斉清掃(7月) ・重信川クリーン大作戦(4月・10月) ・肱川流域一斉清掃(10月) ・不法投棄の撤去(通年) ・環境保全活動イベント(11月) ・環境学習会SDGs出前講座(通年) ・廃食油回収事業(通年) 環境学習会SDGs出前講座				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	町内一斉清掃や重信川・肱川流域での一斉清掃、環境保全活動イベントを定期的に企画・実施することにより、町が主導・関与する「環境美化活動実施回数」の目標値を直接的に達成し、地域の美観維持と自然環境保全に直接寄与する。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費 (千円)	402千円				402千円
総合計画成果指標					
成果指標名	環境美化活動実施回数			最終目標値(R9)	4 回

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	浄化槽設置整備事業			担当部署	町民課 環境衛生係
目 標	目標9 豊かな自然と共に生きる環境整備を実現します				
政 策	政策1 自然環境の保全				
事業概要	 合併浄化槽への転換 【補助対象】 くみ取り槽又は単独処理浄化槽から10人槽以下の合併処理浄化槽への転換 【対象地域】 公共下水道全体計画区域の都市計画区域外及び集合処理施設の整備区域を除く区域 【補助対象項目及び補助限度額】 ・基本額 332,000円～548,000円 ・配管工事費 330,000円 ・既存槽撤去費 120,000円～150,000円				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	くみ取り槽や単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に対する費用補助を直接的に行う。これにより、対象地域における設置件数を確実に積み上げ、「合併処理浄化槽の整備基数」の目標達成に直接的に寄与する。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	5,110千円				5,110千円
総合計画成果指標					
成果指標名	合併処理浄化槽の整備基数			最終目標値(R9)	2,273基

政策 2 循環型社会の推進

【実施計画事業】

【実施計画】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	ごみ減量化資源化促進事業			担当部署	町民課 資源循環推進係
目 標	目標 9 豊かな自然と共に生きる環境整備を実現します				
政 策	政策 2 循環型社会の推進				
事業概要	○ごみ減量化及び資源化推進事業 家庭での生ごみ処理機等購入費、ごみ集積場所の整備費、団体が行う廃品回収事業に対して補助金を交付する。 ○廃棄物リサイクル事業 廃棄物として排出された家具や日用品の中から、まだ使えるものを抽出し、希望者に譲渡する。 ○海岸漂着物対策推進事業 ○食品ロス対策事業 ○一般廃棄物収集運搬処理事業 ○不法投棄の抑制事業				
	生ごみ処理機				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	家庭用生ごみ処理機等の購入補助による生ごみの自家処理促進や、まだ使える日用品等を譲渡する廃棄物リサイクル事業、食品ロス対策を展開する。これにより、一般廃棄物の発生を根本から抑制するとともに再利用を推し進め、一人あたりのごみ排出量の削減および廃棄物資源化率の向上に寄与する。				
	令和 9 年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	1,000千円				1,000千円
総合計画成果指標					
成果指標名	廃棄物資源化率			最終目標値(R9)	26.3%
成果指標名	一人あたりのごみ排出量			最終目標値(R9)	700 g / 日

【行財政分野】

目標10 人々の生活を支えるため、持続可能な行財政運営を実現します

政策1 健全な自治体経営の推進

政策2 住民との協働の推進

政策3 広報・広聴の充実

政策1 健全な自治体経営の推進

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	中長期財政計画の見直し			担当部署	企画財政課 財政係
目 標	目標10 人々の生活を支えるため、持続可能な行財政運営を実現します				
政 策	政策1 健全な自治体経営の推進				
事業概要	将来にわたって持続可能な財政運営を行うため、景気動向や地方財政制度等から将来の収入見込や財政需要を見通すとともに、総合計画実施計画及び公共施設等総合管理計画等を基に、中長期の財政計画を策定する。 その中で事務事業の徹底的な見直し（縮小・廃止・効率化）による経常経費の抑制や財政余剰の捻出を図るほか、公共施設の長寿命化や計画的な維持管理により、可能な限り地方債に依存しない財政運営を行う。				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	【経常収支比率】 事務事業の見直しや経常経費の抑制を図ることで、経常収支比率の改善に寄与する。 【実質公債費比率】 地方債の発行抑制や適正な財政運営を行うことで、実質公債費比率の目標達成に寄与する。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	0千円				0千円
総合計画成果指標					
成果指標名	経常収支比率			最終目標値(R9)	85.0%
成果指標名	実質公債費比率			最終目標値(R9)	5.2%

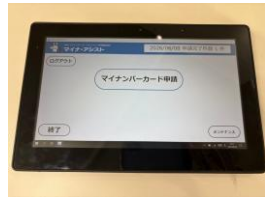
【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	職員研修			担当部署	総務課 人事係
目 標	目標10 人々の生活を支えるため、持続可能な行財政運営を実現します				
政 策	政策1 健全な自治体経営の推進				
事業概要	多様・複雑化する住民ニーズ、行政課題に的確に対応できる知識とスキルを習得し、課題意識を持って業務遂行する意識醸成と資質向上を図る。				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	町村会又は県研修所主催のステージアップ研修や階層別研修への計画的かつ積極的な受講を促すことで、目標達成につなげる。 また、町単独研修についても、研修機会の拡充を図りながら、だれもが公平に受講機会を得られる環境整備に努め、幅広い知識の習得と職員の資質向上を図ることで成果指標とする研修受講者数へ繋げる。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	348千円				348千円
総合計画成果指標					
成果指標名	各種研修を受けた職員数			最終目標値(R9)	550人

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	町税の収納対策			担当部署	税務課 収納係
目 標	目標10 人々の生活を支えるため、持続可能な行財政運営を実現します				
政 策	政策1 健全な自治体経営の推進				
事業概要	滞納整理の強化に努め、文書や電話による催告、財産調査、差し押さえなどの滞納処分の執行による徴収を徹底する。 また、愛媛地方税滞納整理機構や愛媛県と連携し、滞納額の縮減や税収の確保を図る。				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	事業概要にあるような多角的な滞納整理や徴収強化の取り組みを継続的に実施することにより、町税の徴収率の維持・向上に直結させ、安定的な財政基盤の確保につなげる。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	2,471千円				2,471千円
総合計画成果指標					
成果指標名	町税の徴収率			最終目標値(R9)	99.0%

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	マイナンバーカード交付事業			担当部署	町民課 戸籍住民係
目 標	目標10 人々の生活を支えるため、持続可能な行財政運営を実現します				
政 策	政策1 健全な自治体経営の推進				
事業概要	マイナンバーカード保有率の更なる向上に向け専任職員の配置や休日窓口の開設、広報、ホームページ等による啓発活動を展開する。また、未取得者に対してマイナアシストを活用した出張申請等を積極的に実施し交付率の底上げと住民の利便性向上に繋げる。			 マイナンバーカード専用端末「マイナアシスト」	
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	マイナンバーカード交付事務専任職員を配置し、休日窓口の開設やマイナアシストを用いた出張申請を展開することで、未取得者の申請・受取機会を直接的に創出する。これにより、交付枚数を着実に増加させ、成果指標であるマイナンバーカード交付率の直接的な向上に寄与する。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	6,558千円				6,558千円
総合計画成果指標					
成果指標名	マイナンバーカード交付率			最終目標値(R9)	100.0%

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	行政システムオンライン化事業			担当部署	企画財政課 情報化推進係
目 標	目標10 人々の生活を支えるため、持続可能な行財政運営を実現します				
政 策	政策1 健全な自治体経営の推進				
事業概要	県・市町で共同利用するオンライン申請システムを、令和5年度10月に導入し、順次、行政手続きをオンライン化する。 また、オンライン可能な手続きを見直しながら、行政手続きが可能な業務を拡大していくとともに、随時課題等を抽出しながら、より利便性の高いもの出来るよう、改善していく。				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	住民票などの手続きをスマートフォンやパソコン等を利用して、時間や場所を問わずにオンライン申請を行えるとともに、申請できる手続きを充実させることで、各種行政手続き申請者の利便性の向上を図ることで、KPIの達成に寄与する。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	375千円				375千円
総合計画成果指標					
成果指標名	オンライン申請が可能な行政手続件数			最終目標値(R9)	547件

政策 2 住民との協働の推進

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	多様な主体との連携事業			担当部署	企画財政課 企画政策係
目 標	目標10 人々の生活を支えるため、持続可能な行財政運営を実現します				
政 策	政策2 住民との協働の推進				
事業概要	行政と住民の協働だけでなく、企業・大学等の多様なステークホルダーとの連携・協力を積極的に取り組む。 令和7年度から企業との連携の動きが高まったため、引き続き他の団体との連携の可能性を検討するとともに連携実施に向けた調整を行う。				 (企業との包括連携協定締結式)
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	住民ニーズが多様化し、地域社会の課題が複雑化・多様化する一方、少子高齢化社会の到来により、生産年齢人口は減少し、歳出に占める義務的経費の割合は増加している。また、自治体に新たな施策を実施する余力が失われつつある中、多様な主体との協創・協働により多様化・複雑化する地域課題の解決することで、KPIの達成に寄与する。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	0千円				0千円
総合計画成果指標					
成果指標名	各種団体等との連携事業			最終目標値(R9)	5回

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	各種団体等との連携事業			担当部署	地域振興課 コミュニティ支援係
目 標	目標10 人々の生活を支えるため、持続可能な行財政運営を実現します				
政 策	政策2 住民との協働の推進				
事業概要	町内58の区長（自治会長）で組織する砥部町区長会と各種団体等との連携事業 (1) 区長会における研修会の実施 ・防災研修会1回 ・防災対策講和1回 (2) 他団体の主催行事への参加・協力 ・議会主催各種団体親睦球技大会 ・人権教育巡回学習会 ・砥部町人権教育基礎講座				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	地域の代表者からなる区長会において、防災・防犯等の研修会の開催や他団体が主催する人権教育などの行事への参加・協力を行うことで、多様活動主体との連携機会を直接的に創出するとともに、地域コミュニティの持続的な形成に寄与する事業である。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	0千円				0千円
総合計画成果指標					
成果指標名	各種団体等との連携事業			最終目標値(R9)	5回

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	自治活動支援事業			担当部署	地域振興課 コミュニティ支援係
目 標	目標10 人々の生活を支えるため、持続可能な行財政運営を実現します				
政 策	政策2 住民との協働の推進				
事業概要	町内58の自治会に、住民相互の連絡、環境の整備など良好な地域社会の維持及び形成に資する地域的な共同活動を行うことを支援するため、交付金を交付する。 ○自治活動推進交付金事業 58区 4,878千円 ○コミュニティ施設整備事業 ・集会所整備事業費補助金（新築） 20,000千円 （補助率6/10 上限2,000万円）自治活動センター助成金を充当 ・集会所整備事業費補助金（改修） 3,201千円 （補助率5/10 集会所の改修上限700万円、放送設備上限50万円） ・集会所整備事業費補助金（広場整備） 740千円 （補助率1/3 上限100万円） 老木の伐採 1本30,000円×40本×1/3＝410千円 遊具の修繕 980,000円×1/3＝330千円				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	自治活動推進交付金の交付や地域活動の拠点である地区集会所などのコミュニティ施設の整備に対する助成を行うことで、地域活動を持続させるための基盤が強固となる。また、住民の自治活動が将来にわたって継続できる環境を整え、各行政区の自治活動や運営を支援・活性化させることで、成果指標の維持に寄与する。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	28,819千円				28,819千円
総合計画成果指標					
成果指標名	行政区			最終目標値(R9)	維持

政策3 広報・広聴の充実

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	広聴機能の充実			担当部署	企画財政課 企画政策係
目 標	目標10 人々の生活を支えるため、持続可能な行財政運営を実現します				
政 策	政策3 広報・広聴の充実				
事業概要	●多様な団体との意見交換会等の開催 ・住民ニーズを町の政策に反映させるため、オンラインによるミーティングの開催や休日の開催等、住民がより参加しやすい開催形式を検討する。 ●パブリックコメントの活用 ・パブリックコメント制度を活用し、積極的に町との意見が交わされる機会を増やす。 ●公募委員候補者登録制度の創設 公募委員候補者登録制度には、無作為に抽出した住民への郵送料がかかるようになるため、費用対効果を検討しつつ、まずは予算のかからない方法で周知及び申込方法の見直しを実施する。 ・広報誌及び公式LINEの活用し、広く情報を届ける。				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	本事業は、住民の町政に対する関心を高め、多様な形での参画を促すことを目的とする。オンラインや休日を活用した意見交換会、及びパブリックコメントの積極的な活用により、住民が気軽に意見を言える環境を整える。併せて、公式LINE等を活用した効果的な情報発信と併せ、こうした日常的な広聴活動を通じて住民の参画意欲を醸成することで、継続的に町政に関与する意欲を持った人材（＝実質的な公募委員候補者）の裾野を広げ、将来的な公募委員の担い手発掘に寄与する。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	0千円				0千円
総合計画成果指標					
成果指標名	公募委員候補者登録者数			最終目標値(R9)	15人

【実施計画事業】

【実施計画事業】

区 分	継続	会計区分	一般会計	事業方針	現状維持
事業名	ホームページ運用・保守業務			担当部署	地域振興課 広報統計係
目 標	目標10 人々の生活を支えるため、持続可能な行財政運営を実現します				
政 策	政策3 広報・広聴の充実				
事業概要	町ホームページは、町の情報を発信する重要な媒体であり、行政情報をはじめとする必要な情報を迅速かつ正確に提供し、また、より多くの人が利用できるウェブサイトを目指し、使いやすさやアクセシビリティ等への配慮を行いながら広く情報発信し、ホームページ利用者の利便性向上に努める。				
【重要】 KPIへの寄与・ 因果関係	町ホームページの掲載情報を随時見直し、住民が知りたい最新の情報を充実させることにより、役場へ来庁または電話で問い合わせすることなくホームページ上で自己解決できるようになり、「ホームページを見れば問題を解決できる」ことが認知されれば、成果指標であるホームページアクセス数の増加につながり、さらには、職員の窓口・電話対応の業務負担軽減にもつながる。				
	令和9年度				計画期間中の事業費計
計画年度	●				
事業費（千円）	2,997千円				2,997千円
総合計画成果指標					
成果指標名	町ホームページアクセス数			最終目標値(R9)	1,990,000件

砥部町企画財政課
〒791-2195
愛媛県伊予郡砥部町宮内1392番地
T E L : 089-909-4670
F A X : 089-962-4277

